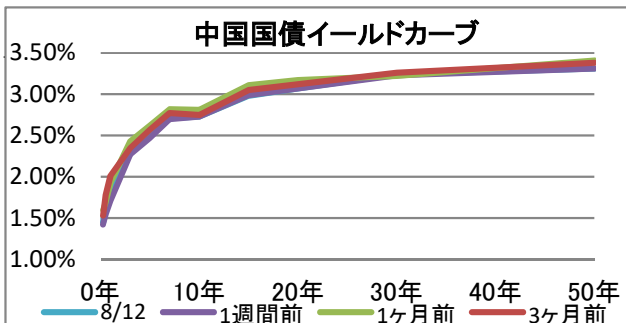
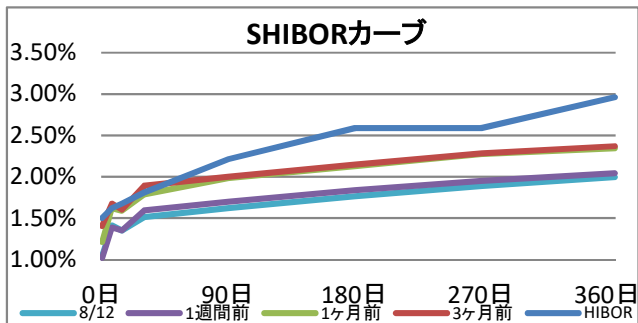


基準レート		2022/8/12	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.7413	+0.0008
	JPY/CNY	5.0663	-0.0110
SHIBOR	3M	1.6220%	-0.0770%
国債利回り	10年	2.73%	+0.00%
上海総合指数		3,276.89	+49.86



(1) 概況

国際金融市場では、夏枯れ相場の様相となる中、注目された米国のインフレがピークアウト感を示し、景気の安定も確認されたことから、市場の方向感を修正する状況とはならず、株式市場、債券市場、為替市場ともに小幅な値動きに終始する展開となった。

中国金融市場でも、感染拡大や米中関係悪化への懸念が高まる中、国内資金需要低迷下での過度の金融緩和への懸念が意識される状況となり、株式市場の上値は重く、債券利回りは上昇に転じる展開となり、外為市場では、6.75を挟んだ値動きに終始。

中国では、景気先行きへの不透明感が高まる中、中国国有企業5社が米国株式市場の上場廃止を発表して米中関係悪化の影響拡大に対する懸念が高まる状況となっており、中国は11月に米中首脳会談を計画していると報道されている。中国人民銀行は貨幣政策執行報告で政府への1兆元の利益還元や預金準備率引下げを含む各種資金供給政策の効果を強調する一方で景気先行き不透明感と輸入インフレを含む物価上昇への懸念を示している。また、銀保監会と共同で保険会社の永久債発行による資本充実に関する通知を配布している。証監会は国有企業の米国株式市場での上場廃止の影響は軽微とし、金融先物取引法等における重複する規制の改定や香港との相互取引拡大に伴う香港及び本土市場のいずれか一方が休日となる場合における相互取引対応準備作業に着手している。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日100億元に対し、新規リバースオペ100億元を実施する中立調整を実施。

(3) 主な経済指標

- ・CPI (7月) は+2.7% (6月+2.5%) と、水準は低いものの食品、特に食肉や野菜を主因に2ヶ月連続で上昇。
- ・PPI (7月) は+4.2% (6月、+6.1%) と、原料価格の低下を主因に前年比での上昇幅は9ヶ月連続で縮小し、前月比では6ヶ月ぶりに低下に転じている。ただし、生活品価格は前月比でも上昇しているほか、購買価格の上昇幅が在庫価格を上回る状況が続いて企業収益が圧迫されている状況にも変化は見られない。
- ・人民元建て新規融資 (7月) は、6,790億元 (6月、2兆8100億元) に急減。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.0440%	1.0500%	1.2300%	
1W	1.4130%	1.5000%	1.1400%	
2W	1.3490%	1.3500%	1.5000%	1.2200%
1M	1.5130%	1.4000%	1.3500%	1.4000%
3M	1.6220%	4.9000%	1.9000%	1.5300%
6M	1.7630%	3.0000%		1.8500%
9M	1.8890%	2.7000%		1.9700%
12M	1.9950%	2.7834%		2.0300%

中国人民銀行の貨幣政策執行報告においてインフレ懸念に言及し、元統計局長の盛氏が資金需要低下と資金供給過多がレバレッジを高めるリスクについて懸念を表明したことから、15日に期日を迎えるMLF6000億元の減額懸念が台頭する等、過度な安心感が後退して金利水準は若干上昇。ターム物は1ヶ月の1.60%前後での出合いを除き限定的。

NCDは、資金運用側の警戒感の高まりから積極運用姿勢が後退し、年末を越える期間を中心に金利水準が上昇に転じている。ターム物の金利水準は、1ヶ月が1.3%台後半、3ヶ月が1.5%台、6ヶ月が1.8%台、1年が2.0%前後にそれぞれ上昇している。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	2.27%	2.29%
1W	2.30%	2.35%
1M	2.48%	2.55%
3M	2.90%	3.10%
6M	3.20%	3.40%
12M	3.60%	3.80%

CPIは高水準ながら減速に転じたものの、FRBによる急速な利上げに対する警戒感に加え、国外投資資金流入減少に伴うドル資金需給のタイト化により金利水準が切り上がる状況が続いている。国内市場では、短期取引中心でターム物は1ヶ月の2.5%台での出合いを除き限定的。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.45%		1.59%	1.71%	1.88%
6M	1.66%		1.83%	1.92%	2.09%
1Y	1.81%	1.91%	2.06%	2.10%	2.33%
3Y	2.34%	2.47%	2.58%	2.65%	3.00%
5Y	2.49%	2.70%	2.94%	3.03%	3.71%
10Y	2.73%	3.01%	3.40%	3.56%	4.32%

債券市場では、金利低下誘導に対する過度の期待の後退や短期金利の上昇等により債券利回りも短期を中心に上昇に転じている。米国債利回りは経済指標の改善により一時上昇していたものの、インフレピークアウト期待が強く上昇し難い状況が続き、10年国債利回りは米国（2.83%）、中国（2.73%）ともに前週末水準から変化はなく、米国債利回りが+10bp上回る状況に変化なし。

イールドカーブは、短期ゾーンの過度の利回り低下を修正する格好でカーブ全体が上昇に転じ、上昇幅は短期>中期>長期となってフラットニングに転じている。また、クレジットスプレッドは中期を中心に小幅に拡大している。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	-17.5 / -17.0
1M	-73.0 / -75.0
3M	-245.0 / -240.0
6M	-505.0 / -500.0
9M	-705.0 / -700.0
12M	-850.0 / -845.0

対ドル基準レートは6.7413と前週末比+8pipsのドル高元安、対円基準レートは5.0663と同-110pipsの円安元高と、6.75を中心に上下動する市場を映じた設定が続き、ほぼ前週末水準と変わらず。中国国内市場では、貿易黒字拡大による元買いと中国での感染拡大と米中関係悪化によるドル需要が均衡する状況が続いており、6.75を中心に6.72から6.77のレンジ内での取引となっている。

先物は、人民元短期金利が上昇に転じたことともあり、方向感の乏しい小幅な値動きが続き、1年物は-800台で取引される展開に終始した。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.69%		1.40%
6M	1.84%	1.85%	1.68%
9M	1.94%	2.01%	1.75%
1Y	2.01%	2.16%	1.81%
3Y	2.30%	2.63%	2.05%
5Y	2.51%	2.94%	
7Y	2.66%	3.10%	
10Y	2.83%	3.28%	

スワップ金利は、債券利回りと短期金利の上昇を受けて上昇に転じている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも、小幅ながら拡大に転じている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。